

地域ケア整備に関する研究班の中間とりまとめ

- ・地域ケア整備構想(仮称)の策定に当たっては、地域における将来の動向や当面の介護サービス等の動向を踏まえつつ検討を進めることが必要。
- ・このため、地域ケア整備に関する研究班において、都道府県による地域ケア整備構想(仮称)の策定のための作業ツールと構想の事項案を中間とりまとめ。

H18. 12. 26公表

①地域ケア整備構想(仮称)に盛り込むべき事項
(中間とりまとめ版)

- ・地域ケア整備構想(仮称)のいわば目次
- ・今後国が示す地域ケア整備基本指針(仮称)を踏まえつつ、都道府県で具体的記載内容を検討

②長期ワークシート

- ・20年後、30年後の地域の高齢化の状況を見通し、施設・居住系サービスの需要を複数パターンで試算し、将来の地域ケア体制のあるべき姿やその体制確保に向けた対応方針を検討するための作業ツール
- ・併せて高齢者の見守り、住まいの在り方や在宅医療の在り方を検討する際の検討の流れ、検討のポイントなどを提示

③短期ワークシート

- ・H23年度までの療養病床転換分も含む介護サービスの見込み量や見守り機能がついた住まい等の量を見込むための作業ツール
- ・介護保険事業計画のワークシートをベースとして、直近の給付実績や療養病床の転換に伴う所要量を反映